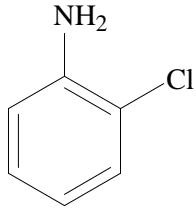


## 既存化学物質安全性(ハザード)評価シート(要約版)

整理番号	99 - 25	官報公示 整理番号	3 - 194	CAS 番号	95 - 51 - 2
名 称	o-クロロアニリン 別名：2-クロロベンゼンア ミン		構 造 式		
分子式	C <sub>6</sub> H <sub>6</sub> ClN		分子 量	127.57	
<p>市場で流通している商品(代表例)<sup>1)</sup></p> <p>純 度 : 99.5%以上</p> <p>不純物 : p-クロロアニリン</p> <p>添加剤又は安定剤：無添加</p>					
<p>物理・化学的性状データ</p> <p>外 観：無色液体<sup>2, 3)</sup></p> <p>融 点：-2<sup>2, 3, 4)</sup></p> <p>沸 点：208.8<sup>3, 5, 6, 7, 8)</sup></p> <p>引 火 点：103 (c.c.)<sup>7)</sup></p> <p>発 火 点：&gt;500<sup>4, 7, 9)</sup></p> <p>爆発限界：文献なし</p> <p>比 重：d<sub>4</sub><sup>20</sup> 1.213<sup>2)</sup></p> <p>蒸気密度：4.40(空気 = 1)</p> <p>蒸 気 圧：13 Pa(9.75 × 10<sup>-2</sup> mmHg) (20 )<sup>7)</sup></p> <p>分配係数：log Pow ; 1.90(実測値)、1.91(計算値)<sup>10)</sup></p> <p>加水分解性：加水分解を受けやすい化学結合なし</p> <p>解離定数：pKa = 2.661(25 )<sup>11)</sup></p> <p>スペクトル：主要マススペクトルフラグメント m/z 127 (基準ピーク, 1.0)、129(0.32)、92(0.17)<sup>12)</sup></p> <p>吸脱着性：文献なし</p> <p>粒度分布：該当せず</p> <p>溶 解 性：o-クロロアニリン/水 ; 5.13 g/l (20 )<sup>7, 9)</sup> アルコールやエーテルなどの有機溶媒に可溶<sup>11)</sup>。</p> <p>換算係数：1 ppm = 5.30 mg/m<sup>3</sup> (気体, 20 ) 1 mg/m<sup>3</sup> = 0.189 ppm</p>					

## 総合評価

### 1) 危険有害性の要約

ヒトにおいて経口、吸入、経皮吸収で毒性を示し、頭痛、発咳、嘔吐、喉のかわき、錯乱等の中樞神経症状や、心ブロック、不整脈、ショック等の心障害が報告されており、循環障害により死亡する場合もある。動物実験においては眼刺激性が報告されている。急性毒性でメトヘモグロビンの増加がみられ、反復毒性でもメトヘモグロビン、ハイツ小体の増加、脾臓の重量増加、暗赤色化、脾臓及び骨髄での造血亢進等が報告されている。変異原性・遺伝毒性では一部の *in vitro* 実験において陽性の報告があるが、発がん性では報告がなく、生殖・発生毒性においても明らかな影響は報告されていない。

本物質は環境中に放出された場合、大気中での OH ラジカル反応による半減期は半日以内と計算される。水圏では生分解されにくいが高濃縮性は低い。水中での直接光分解による半減期は 12 時間との報告がある。環境庁のモニタリングデータでは水質、底質及び魚類中から検出されている。水圏環境生物に対する急性毒性は、甲殻類及び魚類で強い。

### 2) 指摘事項

- (1) ヒト及び実験動物での急性及び反復暴露により赤血球への影響がみられる。
- (2) ヒトで中樞神経症状や心障害を起こすことが報告されている。
- (3) 眼刺激性を有する。
- (4) 経皮吸収性がある。

参考資料

- 1) (社)日本化学工業協会調査資料(2000).
- 2) 後藤稔, 池田正之, 原一郎編, 産業中毒便覧・増補版, 医歯薬出版(1994).
- 3) 有機合成化学協会編, 有機化学物辞典, 講談社(1985).
- 4) IPCS, International Chemical Safety Cards(1993).
- 5) Handbook of Environmental Data on Organic Chemicals, 3rd. Ed., Van Nostrand Reinhold Co.(1996).
- 6) 化学辞典, 東京化学同人(1994).
- 7) IUCLID(International Uniform Chemical Information Data Base) Data Sheet, EU(1995).
- 8) John A. Dean, Lange's Handbook of Chemistry, 13th., MacGraw-Hill Book Company (1985).
- 9) BUA Report, 57(1991)
- 10) 分配係数計算用プログラム“CLogP”, アダムネット(株).
- 11) Hazardous Substances Data Bank(HSDB), U.S.National Library Medicine(1998).
- 12) NIST Library of 54K Compounds.